

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第7週の発生動向

トピックス

・インフルエンザ（定点把握対象疾患）：

インフルエンザの定点当たり報告数が6.6と前週の約0.6倍に減少し、今シーズン流行期に入って初めて流行警報レベル終息基準値(10)を下回りました(詳細後述)。

全数報告の感染症（7週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、水痘（入院例）1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	肺結核	咳、発熱
			80歳代	女	肺結核	痰
		高鍋	70歳代	女	肺結核	咳、痰
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	0~4歳	女	—	頭痛、発熱、菌血症、副鼻腔炎、眼窩蜂窩織炎
	侵襲性肺炎球菌感染症	日向	70歳代	男	—	発熱、咳、菌血症、鼻水、咽頭痛
	水痘（入院例）	宮崎市	20歳代	男	検査診断例	発熱、発疹

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,076人(定点当たり26.7)で、前週比85%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

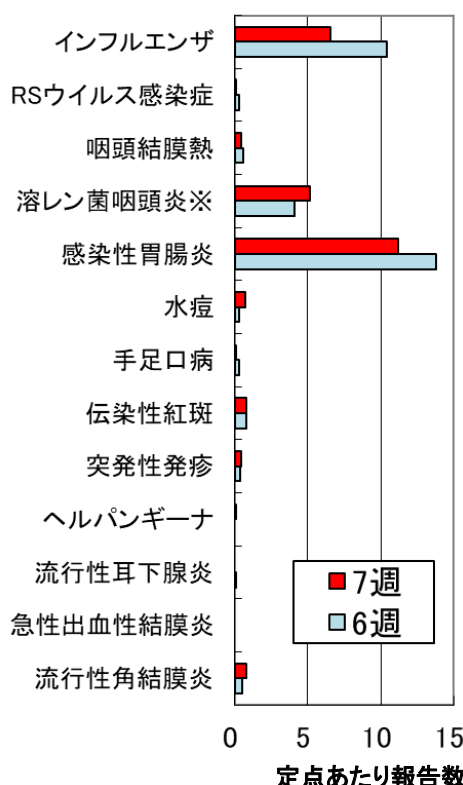
報告数は387人(6.6)で、前週比63%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(30.6)の約0.2倍であった。日向(10.0)、都城(9.3)、宮崎市(7.9)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は403人(11.2)で、前週比81%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.8)の約1.2倍である。中央(22.0)、日向(15.8)、日南(15.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~3歳が全体の約4割を占めた。

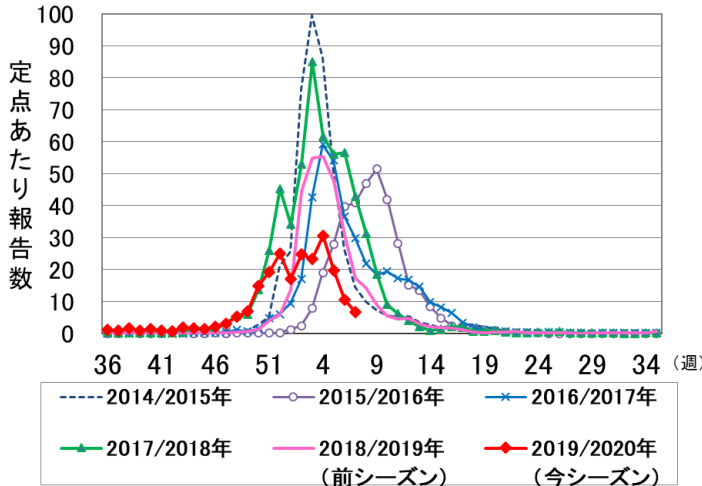
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

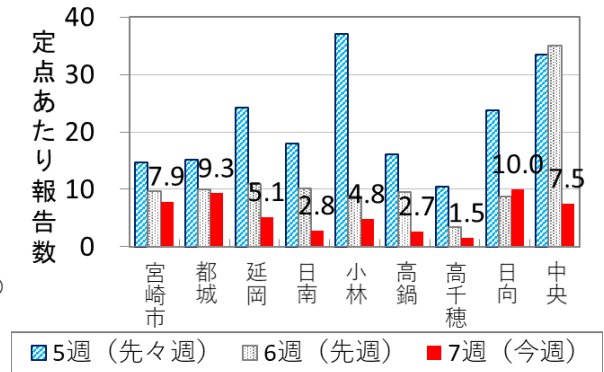


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

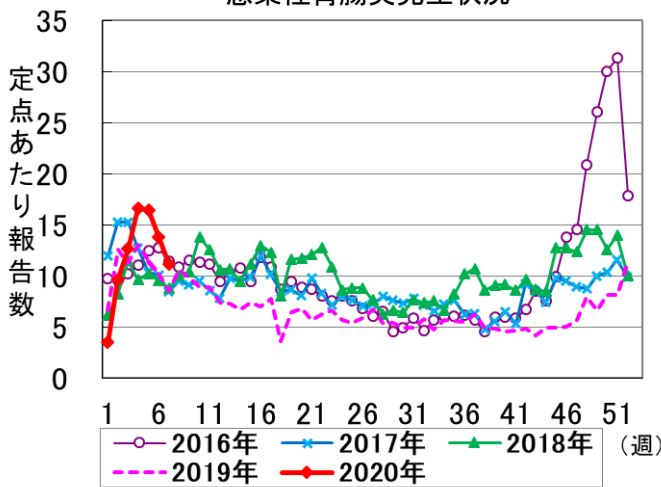
インフルエンザ 発生状況



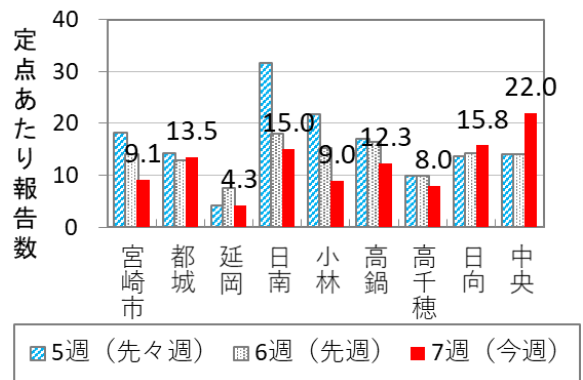
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：

宮崎市、延岡保健所から各1例報告があり、年齢はいずれも5～9歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：

宮崎市保健所から1例報告があり、年齢は20歳代で病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.8)
都城	水痘(1.7)
延岡	水痘(1.3)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(10.0),伝染性紅斑(2.8)
中央	感染性胃腸炎(22.0),水痘(3.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和2年2月17日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
Salmonella Muenchen (O8(O6):d:1,2)	40歳代	女	2019.08.19	発熱(38.9℃)、頭痛、胃腸炎(水様性下痢)	便	2019.08.27
EHEC(O26:H11 VT1)	0～4歳	女	2020.01.18	胃腸炎(下痢、嘔吐)	便	2020.01.31
EPEC(O121:H7)	5～9歳	男	2020.01.28	発熱(37.1℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.02.06
Salmonella Saintpaul (O4:e:h:1,2)	5～9歳	男	2020.01.28	発熱(37.4℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.02.06

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019.12.16	インフルエンザA型、39.0℃、咽頭炎	鼻腔ぬぐい液	2020.02.04
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	女	2019.12.17	インフルエンザA型、38.9℃	咽頭ぬぐい液	2020.02.04
インフルエンザウイルスAH1pdm09	70歳代	女	2019.12.18	インフルエンザA型、38.3℃、頭痛、筋肉痛、咽頭痛	鼻汁	2020.02.04
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	女	2019.12.19	インフルエンザA型、38.9℃、頭痛、咽頭炎	鼻汁	2020.02.04
インフルエンザウイルスAH1pdm09	80歳代	男	2019.12.19	インフルエンザA型、39.2℃、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2020.02.04
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	男	2019.12.23	インフルエンザA型、38.1℃、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2020.02.04
インフルエンザウイルスAH1pdm09	0～4歳	男	2019.12.24	インフルエンザA型、38.9℃、熱性けいれん	咽頭ぬぐい液	2020.02.04
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	男	2019.12.19	肺炎、無呼吸発作、けいれん	咽頭ぬぐい液	2020.02.04
インフルエンザウイルスAH1pdm09	70歳代	女	2019.12.25	インフルエンザA型、37.8℃、関節痛、筋肉痛	鼻汁	2020.02.05
インフルエンザウイルスAH1pdm09	30歳代	男	2019.12.25	インフルエンザA型、38.0℃、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2020.02.05
インフルエンザウイルスAH1pdm09	0～4歳	男	2020.01.06	インフルエンザA型、40.0℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2020.02.05
インフルエンザウイルスAH1pdm09	30歳代	女	2020.01.07	インフルエンザA型、発熱、頭痛、咽頭炎、咽頭痛	鼻汁	2020.02.05
インフルエンザウイルスAH1pdm09	30歳代	女	2020.01.07	MERS疑い、38.6℃、関節痛、咽頭痛	咽頭ぬぐい液 鼻汁 喀痰	2020.02.05
インフルエンザウイルスAH1pdm09	0～4歳	男	2020.01.06	インフルエンザA型、39.0℃、気管支炎	鼻汁	2020.02.05
インフルエンザウイルスAH1pdm09	10歳代	女	2020.01.14	インフルエンザA型、40.0℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2020.02.05
インフルエンザウイルスB型 (ビクトリア系統)	5～9歳	女	2020.01.04	インフルエンザB型、39.4℃、咽頭炎	咽頭ぬぐい液	2020.02.05

○発熱等の症状を呈する16名からインフルエンザウイルスが分離・検出された。今シーズン、当所では、これまでAH1pdm09のみが分離・検出されてきたが、今回、AH3及びB型（ビクトリア系）がそれぞれ1件ずつ分離された。

🇯🇵 全国2020年第6週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第6週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	268例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21例	腸チフス	1例		
4類感染症	E型肝炎	13例	A型肝炎	2例	コクシジオオイドス症	1例
	重症熱性血小板減少症候群	2例	つつが虫病	1例	デング熱	2例
	ブルセラ症	1例	マラリア	1例	レジオネラ症	24例
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	10例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11例	後天性免疫不全症候群	7例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	12例
	侵襲性肺炎球菌感染症	19例	水痘（入院例）	4例	梅毒	57例
	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	2例	百日咳	145例
	風しん	3例				
指定感染症	新型コロナウイルス	13例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比79%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は44,737人(9.0)で前週比64%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(31.6)の約0.3倍であった。北海道(12.9)、沖縄県(12.7)、群馬県、愛媛県(各11.8)からの報告が多く、年齢群別では5～9歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は20,078人(6.4)で前週比92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.0)の約1.1倍であった。香川県(14.7)、宮崎県(13.8)、鹿児島県(11.2)、大分県(11.1)からの報告が多く、年齢群別では1～3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2020年1月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は18人(1.4)で、前月比64%と減少した。また、昨年1月(2.5)の56%であった。

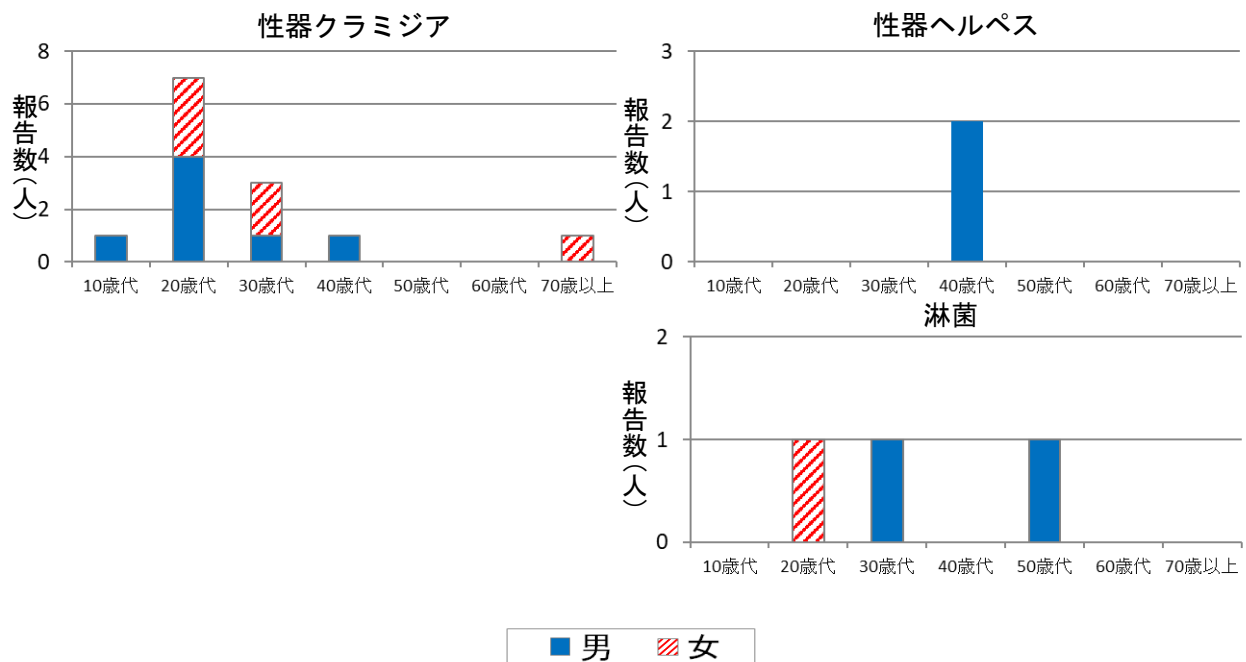
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数13人(1.0)で、前月の0.5倍、昨年1月の約0.9倍であった。
20歳代が全体の約半数を占めた。(男性7人・女性6人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で、前月と同率、昨年1月の0.5倍であった。(男性2人)

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、昨年1月の約0.3倍であった。(男性2人、女性1人)(前月報告なし)



【全国】 定点医療機関総数：980

定点医療機関からの報告総数は4,503人(4.6)で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,416人(2.5)で前月比106%、性器ヘルペスウイルス感染症799人(0.82)で前月比101%、尖圭コンジローマ510人(0.52)で前月比106%、淋菌感染症778人(0.79)で前月比115%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人(2.3)で、前月比160%と増加した。また、昨年1月(2.0)の114%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の1.6倍、昨年1月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の約9割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,482人(3.1)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,349人(2.8)で前月比104%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症122人(0.25)で前月比83%、薬剤耐性緑膿菌感染症11人(0.02)で前月比200%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第07週(02月10日～02月16日)

疾病名		第6週	第7週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	614	387	126	93	36	14	24	16	3	60	15
	定点当り	10.41	6.56	7.88	9.30	5.14	2.80	4.80	2.67	1.50	10.00	7.50
RSウイルス 感染症	報告数	10	3	2								1
	定点当り	0.28	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	22	16	9	1	1	1		2		1	1
	定点当り	0.61	0.44	0.90	0.17	0.25	0.33	0.00	0.50	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	148	185	98	15	13	24	10	11	3	10	1
	定点当り	4.11	5.14	9.80	2.50	3.25	8.00	3.33	2.75	3.00	2.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	495	403	91	81	17	45	27	49	8	63	22
	定点当り	13.75	11.19	9.10	13.50	4.25	15.00	9.00	12.25	8.00	15.75	22.00
水痘	報告数	12	27	8	10	5			1			3
	定点当り	0.33	0.75	0.80	1.67	1.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	12	1			1						
	定点当り	0.33	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	29	29	5	2	6			5		11	
	定点当り	0.81	0.81	0.50	0.33	1.50	0.00	0.00	1.25	0.00	2.75	0.00
突発性発しん	報告数	14	15	5	2	1		4			2	1
	定点当り	0.39	0.42	0.50	0.33	0.25	0.00	1.33	0.00	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数		2			2						
	定点当り	0.00	0.06	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	5	4	1							
	定点当り	0.50	0.83	1.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		2	1		1						
	定点当り	0.00	0.29	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～7週)

2類感染症	結核	19例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例		
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	7例
				レジオネラ症
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	4例(1)
5類感染症	百日咳	4例		水痘(入院例)
				2例(1)

()内は今週届出分、再掲